

# れいわ新選組 わかさとひろの



# 柏市議会の舞台裏から

令和6年12月 市議会レポートVOL.6

柏市こどもルームの大きな課題は「支援員の不足」です。それが保育の質の低下、待機児童の増加を招く一番の原因です。一般質問では、支援員不足を解消するために必要な取組みを提案しました。また、議会ごとに毎回開催している「わかさとひろの市政報告会」でお聞きした市営住宅の新たな問題も議会で取上げ追及しました。動画も公開していますので市の執行部とのやり取りもぜひご覧ください！

今回の一般質問の動画はコチラ→

学童保育 0:00 ~

市営住宅 13:21 ~

執行部からの答弁 21:17 ~

1問1答の質疑 33:08 ~



## 学童保育 柏市こどもルーム 「離職」は止められる!そのためには

### こどもルーム支援員の退職者が後を絶ちません

せっかく採用してもすぐに辞めてしまう人が増えています。支援員の全体数は455名（R6/12月時点）であり、そのうち令和5年度の新規採用者数は46名。それに対して退職者の数は58名と退職者が上回っています。退職の理由としては、高齢による引退や、働いてみたものの仕事内容である「子どもの見守り」に対する認識が違い、専門性の高さからイメージと違ったと辞めてしまう方が多いのです。

### この課題を解決するために

他市の取組みや、当事者からの話や情報収集が必要と感じ、昨年11月、岡山県で開催された「全国学童保育研究集会」に参加してきました。学童支援員・保護者・自治体の職員や民間学童の経営者など、学童保育の関係者が一堂に会し2日間ともに学びあう研究集会です。現地での参加者は約1600名、オンライン参加者を含めると合計約4800名を越える参加人数でした。私も全国の沢山の方と意見交換ができました。

### 参加して感じた重要なポイント

- ①学童保育の仕事は自分が想像している以上に「専門性」が高く、安定して継続的に働くことが重要である。
- ②学童は子どもの権利条約にある、生きる権利・育つ権利・守られる権利・参加する権利を全面的に保障できる場である。
- ③参加者みなさんが学童保育の仕事にやりがいを感じ、情熱と誇りをもって働いている。

今回の一般質問では、この研究集会で学んだことを、柏市のこどもルームの課題である支援員不足の解消に向け、市として出来ることを提案しました。（提案内容は裏面に!）



写真上下：令和6年11月16日、17日  
全国学童保育研究集会 in 岡山

## 学童保育 支援員不足に対する提案

### 「全国学童保育研究集会」への参加を支援員の研修に！

学童保育の仕事についてほぼ素人の私が、一緒に学んだ参加者と関わり、学童の仕事のやりがいや魅力を強く感じることができました。この研修に参加することは単なるスキルアップだけではなく、参加者同士の交流や意見交換により全国に仲間がいるという実感が得られます。在籍している支援員の安定した雇用につながると感じ、議会で提案しました。

#### 市の答弁

**モチベーション向上は重要。  
予算に限りはあるが参加の機会を増やしていく**

### 児童入室前のミーティング時間を増やすことが必要！

児童入室前に約 20 分～ 30 分のミーティングがあります。そこでは前日気付いたことや今日の予定を確認します。しかし児童一人ひとりの健康状態・心の状態・家庭環境・担任の先生からの申し送りなどを話し合うには時間が足りな過ぎます。現在の 13:00 開始の勤務時間を 10:00 または 11:00 に前倒しして、子ども一人ひとりの支援について支援員同士がしっかり話し合う時間の確保が必要です。

#### 市の答弁

**状況を把握したうえで必要であれば勤務時間の延長なりを考えていく**

### 魅力あるパンフやプロモーション動画を！

市の HP、広報かしわへの掲載、チラシで支援員を募集していますが、それだけでは支援員の仕事のやりがいや魅力は伝わりません。パンフレットや魅力溢れる動画の作成も必要と考え提案しました。

#### 市の答弁

**チラシや動画などを研究し、  
人材確保に努める**



全国学童保育研究集会チラシ

### 学童保育 市への要望

1. 専門性を向上させるための研修を充実させること
2. 支援員同士の会議が充分に行える勤務時間を保障すること
3. 学童の仕事だけで生計を立てられる賃金にすること

## 市営住宅の新たな課題

### 新規申込者には 部屋の内見会が必要！

入居が決まった方は、鍵を受け取る入居日当日まで、部屋の状態を知る事ができません。それまでは募集案内に掲載している間取り図で確認しています。昨年 3 月議会で、車椅子専用住宅に入居した障がい者手帳 1 級をお持ちの 50 代女性が、入居日当日に初めて部屋に入り、お風呂場に手すりがなく、**自宅での入浴ができない状況であることを指摘しました。部屋を事前に内見することはできないでしょうか？**

#### 市の答弁

**柔軟に対応していくが、  
リフォーム前の内見は  
考えていない**

### 塚崎団地の日当たりを守って欲しい！



隣接する竹藪が 3 階の上まで伸びており 1 階の部屋は終日真っ暗。1 階に住む 85 歳の女性は、洗濯物は外に干しても乾かないため室内で干しています。**部屋の照明は 1 日中つけっぱなしです。竹藪の所有者は柏市ではないため、まずは切って頂けるか交渉から始めて欲しいと要望しました。**

#### 市の答弁

**切ってもらえるよう  
交渉から始めていく**

### 敷地内の危険な樹木は伐採して欲しい！

敷地内(柏市所有)で明らかに危険(スズメバチが発生)と判断できる樹木は、**樹木ごと伐採してはどうか提案しました。維持費の削減にもつながると考えます。**

#### 市の答弁

**住民の意向を確認し検討する**



### 「歩く困りごとの窓口」としてお気軽にご相談ください！

柏市議会議員 わかさ ともひろ

会派：市民サイド

委員会：総務市民委員会、広報委員会



各種 SNS

### プロフィール

わかさとともひろ (51 歳)  
小 6・小 4 の娘と暮らす  
シングルファザー

1973 年 秋田県生まれ。柏市花野井在住。

税務署、財務省(旧 大蔵省)、劇団主宰、俳優業、広告代理店の営業マン、森の幼稚園事業、ハウスクリーニング、電気工事(ひとり親方)など、経験した職業は 19 種類。命や人の優しさ、表現することを大切にしています。



わかさとともひろ事務所

柏市花野井 720-177 TEL: 090-1421-9790  
後援会「わかさとともひろの会」の会員募集中です！